総合評価シート

評価対象年度	：令和7年度
施設所管課	：施設課

1．指定管理者の概要

名称	社会福祉法人　日本キングス・ガーデン
所在地	茨城県常総市大生郷町1818-2
代表者	理事長　張　博一
指定期間	令和４年４月１日から令和9年３月31日まで
業務内容	常総広域障害者支援施設の利用及び施設の維持管理に関すること。

2．施設の概要

施設名	常総広域障がい者支援施設	該当年度中の開所日数	365日
所在地	茨城県常総市大生郷町1880	１日における開所時間	24時間
設置目的	構成市（常総市、取手市、守谷市、つくばみらい市）障がい者の生活介護及び入所支援を行うことを目的とする。		
主な設備	入居棟（居室60室・浴室・指導室・倉庫・トイレ等）、入居共用棟（医務看護室・配膳室・機械浴室・洗濯室等）、自立訓練室（事務室・応接室・創作活動室・機能回復訓練室・多目的活動室）交流ホール（キッチン等）		

3．施設の利用状況

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	傾向と増減理由
入所者数（年度末時点）	55人	56人	56人	56人	55人	満床のため変動なし。
短期入所者数（延べ人数）	4人	249人	340人	204人	303人	長期利用者はなく、土日を中心に利用する4名のリピーターが主な利用者でした。新規利用者もなく、感染症対策による中止期間の影響から、利用者数は大きく増加しなかった。
日中活動利用者数（延べ人数）	16,862人	16,467人	16,492人	16,478人	15,994人	入居者+在宅利用者。 入居者の入院多発、退所者4名の発生と新規入居者確定までに時間を要したことなどにより、利用者数が減少した。
日中一時支援利用者数（延べ人数）	0人	0人	0人	0人	0人	希望者不在のため休止中。

４．収支状況（管理運営業務）

			予算額	決算額	増減額	増減の主な理由
収入合計（A）			345,016,000	338,527,264	-6,488,736	
項目	事業活動	自立支援給付金	286,686,000	279,419,037	-7,266,963	長期入院、短期入所中止発生の為
		利用者負担	33,424,000	33,954,930	530,930	
		その他事業	811,000	811,040	40	
		寄附金収入	1,000,000	1,000,000	0	入所者家族会より
		受取利息配当金	425,000	437,661	12,661	
		その他（雑収入）	670,000	904,596	234,596	
	その他の活動による収入		22,000,000	22,000,000	0	賞与支払不足分等
支出合計（B）			363,737,000	360,234,380	-3,502,620	
項目	事業活動	人件費	239,912,000	233,916,177	-5,995,823	正職員減等による
		事業費	82,710,000	85,042,536	2,332,536	感染対策、水光熱費等
		事務費	30,991,000	30,537,137	-453,863	職員検診検査、人材紹介、修繕
		その他（雑支出）	2,000	0	-2,000	科目相違の為事務雑費へ
	施設整備等支出		9,140,000	9,283,000	143,000	BCP対応送迎車両購入
	その他の活動による支出		982,000	1,455,530	473,530	退職給付引当資産支出
	予備費		0	0	0	
収支（A）－（B）			-18,721,000	-21,707,116	-2,986,116	

【収支状況（管理運営業務）に関して指定管理者のコメント】

主な収入についてはサービス提供（国保連）及び利用者負担金となっており、徴収については適正に行いました。主な支出については人件費となっております。

４．収支状況（自主事業）

		予算額	決算額	増減額	増減の主な理由
収入合計（A）		250,000	220,333	-29,667	
項目	自主事業収入	250,000	220,333	-29,667	その他（雑収入）
	その他				
支出合計（B）		60,000	67,051	7,051	
項目	自販機電気代	60,000	67,051	7,051	事業費
収支（A）－（B）		190,000	153,282	-36,718	

【収支状況（自主事業）に関して指定管理者のコメント】

自動販売機のニーズは高く、例年通り継続しています。

5.項目別評価

1．施設の管理運営	指定管理者による自己評価		施設所管課による評価		
(1) 基本方針の確立	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立され、業務従事者は理解していたか。	B		B	2	
(2) 人員体制	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
施設の管理運営に必要な人員が過不足なく配置されていたか。 地元雇用の配慮はされていたか。 業務の遂行に必要な知識、技能の習得、利用者サービス向上のための研修等は実施したか。	A	多様な研修に参加し、強度行動障害支援者（障害者支援の専門的な資格）を養成する指導者の資格を1名の職員が取得し、研修会にファシリテーターとして参加したほか、利用者の記録から行動分析を行い、安心した生活のための支援の情報を職員と共有しました。	A	3	
(3) 連絡体制	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
協定書等に従い、各種書類等は遅延なく提出していたか。	B		B	2	
(4) 利用者数	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
事業計画書に掲げた目標を達成したか。	B		B	2	
(5) 記録管理	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
利用申請書、報告書その他書類を適切に作成・保管していたか。	B		B	2	
(6) 情報公開・個人情報保護	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
情報公開・個人情報保護の取り扱いは、協定書に基づき適正に行っていたか。	B		B	2	
(7) 第三者委託	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
第三者への委託が適切な手続きで行われ、第三者が再委任することはなかったか。	B		B	2	
(8) 緊急時の対応	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
事故、災害時等の緊急時対応マニュアルの整備や対応体制が確立されていたか。	B		B	2	
指定管理者コメント	書類の管理提出を適切に行いました。また、強度行動障害支援者の研修受講を奨励し、9名が修了しました。				
施設所管課コメント	概ね適正でありましたが、当初計画に挙げられた一部訓練の未実施がありました。また、夜間の電話応対の設定が不適切な状態が長期間ありましたので、改善を求めます。				

5.項目別評価

2. サービス向上の取組み		指定管理者による自己評価		施設所管課による評価		
(1) 利用者対応		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	利用許可、予約等を公平かつ適切に行っていたか。 マニュアルが整備され、利用者への接遇は適切であったか。	C	誤薬および切創事故の再発を防止できず、利用者対応が十分ではありませんでした。	C	1	
(2) 人権の尊重		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	利用者の人権を尊重し、関する研修等を職員に対し実施したか。	B		B	2	
(3) 利用者家族等への情報提供		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	利用者の家族等に対し、利用状況等の発信を適時行ったか。	B		B	2	
(4) 苦情等への対応		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	苦情や要望等の対応を、迅速かつ適切に行ったか。	B		B	2	
(5) 利用者調査		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	アンケート等の実施により、利用者満足度やニーズを把握し、サービス向上に活用していたか。	B		B	2	
(6) 連携業務		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	各関係機関及び利用者家族との連携は取れているか。	A	医療機関との連携で迅速な医療対応を行っています。各市と必要な手続きの実施、ご家族との連携で日常の課題解決に努めています。	A	3	
(7) 地域との連携		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	地域に根差した施設運営となるような取組みを行ったか。	B		B	2	
(8) 自主事業		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	事業計画書に掲げた自主事業を実施できたか。 利用者ニーズを踏まえた自主事業を実施したか。	B		B	2	
指定管理者コメント		誤薬および切創事故の再発防止対策を強化します。利用者及びご家族のニーズが多かった外出・外泊を土日を中心に再開し、感染対策との両立を図りました。				
施設所管課コメント		医療機関との連携により、利用者の傷病時に迅速な対応が出来ていました。一方、誤薬事故等も発生しているため、今後も安全管理の徹底を求めます。				

5.項目別評価

3．施設の維持管理		指定管理者による自己評価		施設所管課による評価		
(1) 施設の点検・整備等		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	法令、業務基準等に従い、施設や設備の点検整備、保守管理等を行っていたか。	B		B	2	
(2) 施設の修繕		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	協定書等に従い、適切に修繕が実施されていたか。	B		B	2	
(3) 清掃・衛生管理		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	業務基準等に従い、清掃・衛生管理を適切に行い、施設が清潔に保たれていたか。	B		B	2	
(4) 植栽等の管理		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	業務基準等に従い、樹木・植栽等の美観が保たれていたか。	B		B	2	
	利用者の安全に配慮した植栽管理はされていたか。					
(5) 備品の管理		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	備品を適切に管理し、また、備品台帳を整理していたか。	B		B	2	
	年に１回以上、台帳と現物の照合を行ったか。					
(6) 環境への配慮		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	環境に配慮した製品の購入や、エネルギー使用量・廃棄物の削減に向けた取組みをしていたか。	B		B	2	
指定管理者コメント		トイレ、内装などを中心に入居者が過ごしやすい環境整備を積極的に行いました。				
施設所管課コメント		計画的な修繕により施設の健全度を維持しておりました。				

5.項目別評価

4．収支状況		指定管理者による自己評価		施設所管課による評価		
(1) 経理事務		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	指定管理業務に関する経費と自主事業に関する経費を区別して帳簿等を備え管理していたか。	B		B	2	
	料金徴収（食費、光熱水費等の個人負担分）は適切に処理したか。					
(2) 予算執行		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	サービスの維持・向上に留意した上で、効果的・効率的な予算執行が図られたか。	B		B	2	
指定管理者コメント		適切に経理を行いました。				
施設所管課コメント		適正な経理事務であったと判断しました。				

6．総合評価

合計評点数	49 /72点	
総合評価	B	適正である

【施設所管課からの講評】
福祉専門職の資格取得を進め、適正な人材育成を図りつつ介護給付算定に寄与する取組がみられ、サービスの向上と財政健全化の方策の両立が図られています。また、人件費、修繕等の費用のための計画的な積立てや取り崩し対応についても、適正に資金管理体制が整えられていると判断しました。併せて、事故の発生防止にも引き続き注力してください。